



ドイツに学ぶ、



公共図書館を成功に導く

戦略と実例

ドイツのケルン市立図書館は、利用者ニーズを捉えた様々な先進的サービスで注目されています。その運営には、日本の図書館も見習うべき要素が多くあります。

前任の図書館をドイツの「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー」受賞に導いた実績を持つフォークト博士(現・ケルン市立図書館館長)が「常に一步前進!」と題して、**関係を作るマーケティング**、**スポンサー獲得&ロビー活動の戦略**、**場としての図書館**、**facebook** や **twitter** の活用、**iPad** ラリーで **図書館紹介** など、多数の戦略と実例をご紹介します。

また、日本の公共図書館として斬新なサービスを展開したことで知られる、千代田図書館のコンセプトもご紹介します。

ドイツと日本の先進的な実例から、これからの公共図書館が持つべき運営戦略のヒントを見つけてください。



駅へ向かう通路に設置された
ミステリー小説の自動貸出機

写真提供:ケルン市立図書館

4月25日(木)10時から、電話(5211-4289)または千代田図書館カウンターにて参加受付開始

ご希望の方は、図書館コンシェルジュによる千代田図書館ガイドツアー(18:30~18:50)にご参加いただけます

2013年 **5月16日(木)19:00~21:00** (18:30開場) 100席(先着順)、参加無料

千代田区役所 本庁舎1階 **千代田区民ホール** (千代田区九段南1-2-1)

講師:ハンネローレ・フォークト博士/ケルン市立図書館館長(逐次通訳)、望月千恵子/千代田図書館館長



カルク地区の分館、「PCゲームで遊びながら学ぶ」

プロジェクトが子どもたちに人気

主催:ドイツ文化センター・千代田図書館



**GOETHE
INSTITUT**

Sprache. Kultur. Deutschland.